

2 教育委員の自己点検及び評価

【教育委員の主な活動】

(1) 教育委員会会議の開催状況

年度	開催日	議題等件数	出席委員数 (教育長を除く)	会議に付した主な案件
27	4月10日	1	3	調査書における目標に準拠した評価（いわゆる絶対評価）について
	4月17日	3	3	平成27年度大阪府教育委員会の運営方針について 等
	5月20日	6	3	平成28年度使用府立学校教科用図書採択要領及び平成28年度使用高等学校用教科用図書選定の手引きについて、平成28年度使用高等学校用教科書について 等
	6月19日	4	3	知事からの意見聴取に対する回答の承認について、平成28年度大阪府立高等学校中国等帰国生徒及び外国人生徒入学選抜について、平成28年度大阪府公立高等学校知的障がい生徒自立支援コース入学選抜及び平成28年度大阪府立知的障がい高等支援学校職業学科の大阪府立高等学校に設置する共生推進教室入学選抜について 等
	7月29日	3	5	知事からの意見聴取に対する回答の承認について 等
	8月21日	4	4	平成28年度使用府立高等学校教科用図書の採択について、平成28年度使用府立支援学校教科用図書の採択について、併設型中高一貫校として府立富田林高等学校に併設される中学校の学校概要について 等
	9月3日	3	5	平成26年度教育行政に係る点検及び評価結果の報告について、大阪府立学校条例及び大阪府立高等学校・大阪市立高等学校再編整備計画に基づく平成27年度実施対象校及び再編方針の案について 等
	9月18日	1	5	平成27年度9月定例府議会提出予定の議案について
	10月28日	2	4	知事からの意見聴取に対する回答の承認について 等
	11月27日	6	5	平成28年度大阪府公立高等学校の募集人員について、平成28年度大阪府立知的障がい高等支援学校職業学科及び高等学校に設置する共生推進教室の募集人員について、平成29年度以降の府立高校入学選抜における調査書の評定について、大阪府立学校条例及び大阪府立高等学校・大阪市立高等学校再編整備計画に基づく平成27年度実施対象校及び再編方針について 等
	12月18日	3	4	知事からの意見聴取に対する回答の承認について、平成28年度「府立学校に対する指示事項」及び「市町村教育委員会に対する指導・助言事項」について 等
	1月22日	6	5	公立小・中学校の学級編成基準の改正について、平成28年度公立小・中学校、高等学校及び特別支援学校教職員定数配分方針について 等
	2月19日	3	4	知事からの意見聴取について、平成29年度大阪府公立学校入学選抜方針等について 等
3月25日	5	5	第3次大阪府子ども読書活動推進計画について、大阪府立学校条例及び大阪府立高等学校・大阪市立高等学校再編整備計画に基づく平成27年度実施対象校である府立西淀川高等学校について、大阪府教育委員会通則の一部を改正する規則について 等	
合計	14回	50	58	

(2) 教育委員意見交換の開催状況

年度	開催日	出席委員数 (教育長を除く)	意見交換を行った主な案件
27	5月20日	3	平成28年度入学者選抜について、平成27年5月定例府議会提出予定の条例案について
	6月19日	3	平成26年度「教職員の評価・育成システム」評価結果分布の公表について、総合教育会議について
	7月29日	5	子どもの体力について、自己研修制度について、9月補正予算について
	8月21日	4	平成27年度全国学力・学習状況調査結果について、教育行政の点検及び評価について
	9月18日	5	平成27年9月定例府議会提出予定の議案について
	10月28日	3	市町村教育長会概要報告について、平成27年度文化の日の表彰式について
	11月27日	5	平成29年度以降の府立高等学校入学者選抜における中学3年生の目標に準拠した評価について、平成28年度「府立学校に対する指示事項」及び「市町村教育委員会に対する指導・助言事項」の取組みの重点ポイントについて、平成28年度当初予算要求の概要について
	12月18日	4	「第3次大阪府子ども読書活動推進計画」の策定及び概要について
	1月22日	5	「政治的教養を育む教育」ガイドラインについて、平成28年2月定例府議会提出予定議案について、大阪府特別職報酬等審議会意見具申について
	2月19日	4	小学校指導体制支援推進事業について
3月25日	5	平成27年度中学生チャレンジテストの結果概要について	
合計	11回	46	

(3) 大阪府総合教育会議

平成27年度 第1回大阪府総合教育会議

- ・とき 平成27年6月19日(金)
- ・ところ 大阪府公館 大サロン
- ・内容 大綱の策定について
子どもたちの体力づくりについて

(4) その他

活動内容	回数	のべ出席委員数(教育長を除く)
学校等視察(学校視察、教育センター視察、成果発表会視察、中学生生徒会サミット 等)	15	18
議会への出席(教育常任委員会 等)	8	24
選考会議等での審査員(学校経営推進費選考)	1	2
広報活動(大阪府立スクールカウンセラー新規採用予定者説明会 等)	5	5
表彰式(優秀教職員表彰表彰式、文化の日の表彰表彰式 等)	2	5
各種会議、式典への参加(全国都道府県教育委員会連合会、近畿2府4県教育委員協議会 等)	10	12

平成 27 年度 教育委員の取組みについての自己点検・評価シート

【小河勝委員】（平成 24 年 10 月 1 日就任）

教育委員会会議における取組み（主な発言の内容） 【会議出席 13 回】

【平成 27 年度大阪府教育委員会の運営方針について】（基本方針 1 関係）

*平成 27 年 4 月 17 日開催の教育委員会会議

- ・「中学校の学力向上に向けた重点支援」について、学校現場を下支えして盛り上げていく政策的な教員配置が有効であることを提起。
- ・「幼児教育の充実」について、教育委員会をはじめ、関係する部局が連携して、子どもの育ちの環境全体を改革していくような大きな視点を持って、政策的な検討を行うことが必要と提起。

【平成 26 年度教育行政に係る点検及び評価結果の報告について】（基本方針 1、2、4、9 関係）

*平成 27 年 9 月 3 日開催の教育委員会会議

- ・幼小中高の学びの連続性を議論する体制構築の検討、私学との協力関係の重要性等を提起。
- ・スクールソーシャルワーカーの役割について、子どもたちの居場所づくりに関する活動を行っている NPO 法人との連携が大切であることを提起。

【平成 27 年度全国体力・運動能力、運動習慣調査における大阪府の結果概要について】（基本方針 5、9 関係）

*平成 27 年 12 月 18 日開催の教育委員会会議

- ・体の発達は「遊びの中で獲得していく力が大きい」という面から考え、幼児たちが、思い切り、安全に遊べるフィールドの重要性を提起。

【第 3 次大阪府子ども読書活動推進計画（素案）について】（基本方針 4 関係）

*平成 28 年 1 月 22 日開催の教育委員会会議

- ・子どもたちが文字を読むことで、思考の中に論理やイメージを高めていくことが大切であり、読書を子どもたちの文化として定着させていくことが課題であると提起。

【平成 29 年度大阪府公立教員採用選考テスト等について】（基本方針 6 関係）

*平成 28 年 3 月 25 日開催の教育委員会会議

- ・質の高い、志の高い教員を数多く採用していくためには、大阪の教育のめざす目標像や求める人物像などの理念を、これから教員を志す方々の心に響くよう、情報伝達の仕組みを更に工夫していく必要があると提起。

その他の取組み

【各種会議への出席】

*平成 27 年 4 月 3 日開催の市町村教育委員会委員長・教育長会議

・ホテルアウィーナで開催された、平成 27 年度市町村教育委員会委員長・教育長会議、及び、平成 27 年度当初の府立学校長会に出席。

*平成 28 年 2 月 1 日開催の全国都道府県教育委員会連合会

・全国都道府県教育委員会連合会第 2 回総会に出席し、全国都道府県教育委員長協議会のあり方等についての協議に参加。

【その他】

*大阪府議会への出席 3 回（教育常任委員会 3 回）

自己点検及び評価

高等学校入学者選抜の内申基準の妥当性を図るために、平成 27 年 4 月の全国学力・学習状況調査を活用するという大阪府教育委員会の提案は、文部科学省の了解を得られなかった。その結果、大阪府教育委員会としては「中学 3 年生のチャレンジテスト」を 6 月に実施する案に転じることとなった。私はこの案については憂慮を申し上げた。理由は次の通りである。① 2 年生のチャレンジテストの分析により、すでに各中学校の絶対評価の妥当性は確認されており、3 年生でテストが必要であるとの根拠がないと思われる。② 3 年生の 6 月でのテスト実施の試験範囲は、事実上 2 年生末までの学習内容とほぼ同等であり、2 年生 1 月のテストの繰り返しになるのではないか。③ 1 年生、2 年生とチャレンジテストを行い、さらに 3 年生の 6 月でも行うとなると「事実上、入試の 2 回実施」との批判も出るであろうし、4 月の全国学力・学習状況調査、9 月から毎月連続の実力テストで「大阪は中学 3 年生に過度のテストを課し受験をあおる」と言われかねない。④ 義務教育の評価とは紙に現れる正答率の高低だけではない。実験へのアイデア、グループの指導力、協力する力、音楽、美術、体育への感動、技術などの巧緻性、誠実さ、仲間の正しくない行動を諫める勇気、友情を求め、それを強める情熱と感動など。これまで義務教育の柱であった中学校の「絶対評価」の意義が極度に弱くなるのではないか。

しかし、教育委員会での協議の結果「中学 3 年生のチャレンジテスト」の実施を決定し、今年 6 月にテストは実施されたが、問題は起きなかった。ともあれ、大阪府教育委員会としての新しい制度は決まったのである。これは教育行政における新しい試みである。今後、全国の教育委員会が大阪のこの取組みを注視し続ける。大阪府教育委員会は結果の検証とともに、ここから教訓をひき出し、大阪の教育の向上に努めなければいけない。

もう一点、私は幼児教育の重大性について様々な教育委員会の場面で主張し続けてきた。幼稚園・保育所・認定こども園の不足と同時に大阪には自然が少ない。特に子供たちが育つ一番身近な環境においてそれが極度に少ないことは、子どもたちの育ちの重大な課題である。同時に乳幼児期から子どもたちの生活の夜型化の問題がある。深夜にもかかわらず、子どもたちがコンビニにたむろし、何時間もゲームにふけり続ける社会にどのような未来が来るのであろうか。「人間が人間らしく育つ道筋とはいかなる道か」、この原点の課題を学び直し、現実を見つめ直し、子どもたちの健全な発達を守るための行政的措置を講じていかねばならない。それが教育委員として府民から託された期待に応える重大な責務であると考えている。

平成 27 年度 教育委員の取組みについての自己点検・評価シート

【井上貴弘委員】(平成 25 年 10 月 1 日就任)

教育委員会会議における取組み (主な発言の内容) 【会議出席 14 回】

【府立学校における校内人事の決定について】(基本方針 7 関係)

*平成 27 年 5 月 20 日開催の教育委員会会議

・校内人事について、校長は、定期的に教員と面談を行って、学校の状況を把握する中で、必要な情報収集を行うことを徹底するよう提起。

【併設型中高一貫校として府立富田林高等学校に併設される中学校の学校概要について】(基本方針 2 関係)

*平成 27 年 8 月 21 日開催の教育委員会会議

・府立富田林中学校で行うアクティブラーニングなどの「特色ある教育活動」の成果を、府内公立中学校にフィードバックしていく機会の検討を提起。

【平成 27 年度全国学力・学習状況調査における大阪府の結果概要について】(基本方針 1、6 関係)

*平成 27 年 9 月 3 日開催の教育委員会会議

・教員の人材育成において、結果が出ている学校を好事例として、他校へ具体的に示すことを提起。

【平成 28 年度「府立学校に対する指示事項」及び「市町村教育委員会に対する指導・助言事項」について】(基本方針 7 関係)

*平成 27 年 12 月 18 日開催の教育委員会会議

・府立学校に対する指示事項について、全員が共有し、実践するために、取組みの重点の理解を徹底する方法を校長に考えてもらうなど、工夫をすることを提起。

【平成 27 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査における大阪府の結果概要について】(基本方針 5 関係)

*平成 27 年 12 月 18 日開催の教育委員会会議

・子どもの時に運動習慣を身につけることは、子どもたちの体力向上だけでなく、今後の大阪府民全体の健康増進につながっていくということを視野に入れて、子どもたちが楽しく運動ができるような方法やアスリートによる指導などであこがれも持てる仕組み等の検討を提起。

【第 3 次大阪府子ども読書活動推進計画(素案)について】(基本方針 4 関係)

*平成 28 年 1 月 22 日開催の教育委員会会議

・読書が好きと答えた割合が多い都道府県の好事例を調査研究していくことを提起。

【「政治的教養を育む教育推進のためのガイドライン」について】(基本方針 4 関係)

*平成 28 年 2 月 19 日開催の教育委員会会議

・教える先生が「生徒自身が判断していくことが大事」という考え方をもち、生徒がいろいろな考えに触れ、自分で考えるきっかけになるような指導をしていくことを提起。

その他の取組み

【学校訪問・講演など】（基本方針5、6、7関係）

- *平成27年8月2日開催の平成27年度全国高等学校総合体育大会
 - ・紀三井寺公園陸上競技場で開催された全国高等学校総合体育大会の陸上競技大会を視察。
- *平成27年8月17日開催の吹田市教育委員会研修
 - ・吹田市で開催された小中学校の教頭等を対象とした管理職研修において、「人材育成」をテーマに講演。
- *平成27年12月6日開催の第41回府立学校教育シンポジウム
 - ・大阪府立高等学校長協会が主催する第41回府立学校教育シンポジウムにおいて、「笑う経営 挑戦しつづける組織の作り方」をテーマに講演。
- *平成28年2月13日開催の平成27年度グローバルリーダーズハイスクール（GLHS）合同発表会
 - ・大阪大学会館で開催された、平成27年度グローバルリーダーズハイスクール（GLHS）合同発表会で、GLHS10校の代表生徒による研究発表と、昨年度夏に行われたアメリカのハーバード大学、マサチューセッツ工科大学での研修に参加した生徒による報告会に参加。
- *平成27年4月から平成28年3月 「笑育（わらいく）」出前授業の府内高等学校及び小学校での実施
 - ・笑いを通じてコミュニケーション力等の習得を目的とした出前授業（「笑育」）を、代表取締役社長を務める松竹芸能（株）が、府内高等学校（通年授業）及び小学校（教科を横断した全10回の授業）を実施した。

【その他】

- *大阪府議会への出席 4回（教育常任委員会4回）
- *選考会での審査・表彰式 2回（学校経営推進費第2次選考委員会、優秀教職員等表彰の表彰式）

自己点検及び評価

民間人企業経営者の視点から、教育委員会事務局や学校の組織のガバナンス強化、計画を推進するための効率的な運営体制の設計などに関して、教育委員会会議や意見交換の場で積極的に提言を行った。加えて、民間企業で求められる人材を育成するという視点を持ちながら、『府立学校に対する指示事項』及び『市町村教育委員会に対する指導・助言事項』等の方針や計画の点検と提言を行うとともに、それらが現場で活かされるための方法の提言などを行った。

反省点としては、定例の教育委員会会議には全て出席できたが、府下で催される様々な行事関係には半分も出席できなかった点、並びに特色のある教育活動を行っている、又は課題を抱える府立学校や府内小中学校への視察と、それに伴う現場教員の方々との意見交換を多く行えなかった点があげられる。これらに関しては、改善を図りたいと考える。

平成 27 年度 教育委員の取組みについての自己点検・評価シート

【岩下由利子委員】(平成 27 年 6 月 2 日就任)

教育委員会会議における取組み (主な発言の内容) 【会議出席 6 回】

【第 3 次大阪府子ども読書活動推進計画 (素案) について】 (基本方針 4 関係)

*平成 28 年 1 月 22 日開催の教育委員会会議

- ・メディアや出版業界、書店へ、府民に「読書の楽しさと重要性」伝えていく活動についての協力を働きかけ、特に数多くある書店との連携を提起。

【第 3 次大阪府子ども読書活動推進計画について】 (基本方針 4 関係)

*平成 28 年 3 月 25 日開催の教育委員会会議

- ・小学校、中学校の時に、本を読む習慣をつけるのが大変大事であることから、学校で読書の時間を設けるなど習慣化に向けた取組みの強化を提起。

その他の取組み

【運動機会の充実による体力づくりについて】 (基本方針 5 関係)

*平成 28 年 2 月 10 日 府立摂津高等学校視察

- ・校長や体育科教員等と意見交換と、体育科の授業の見学。

【その他】

*大阪府議会への出席 5 回 (教育常任委員会 3 回、教育常任委員協議会 1 回 等)

自己点検及び評価

就任させていただき 1 年が経過しました。30 年前に 5 年程、中学校・高等学校で体育の講師の経験はありましたが、最近の教育現場の状況は大きく様変わりしていて驚く事ばかりでした。

自己の業務の都合上、教育委員会会議には半分しか出席できなかったこと、また重責ある教育委員会会議において、発言が少なかったところは一番反省すべきところであります。

届いた資料には何度も目を通し、以前よりテレビ・新聞・インターネットなどから多くの情報を得ることに努めました。空回りの状態もあった様に思いますが、今できる事を一生懸命にやる事を念頭に行動できていたと思います。

大阪府の教育に関わる多くの問題・今後の課題など、把握できてきました。運動の世界で私しか経験できなかったことを活かし、様々な問題はもとより、特に体罰の問題や児童・生徒の体力低下の問題においても尽力していきたいと思います。またできる限り現場へ出向き、先生方や児童・生徒の生の声を聞き、その様子を見て確かめるなど精力的に行動していきたいと思います。

平成 27 年度 教育委員の取組みについての自己点検・評価シート

【竹若洋三委員】(平成 27 年 6 月 2 日就任)

教育委員会会議における取組み (主な発言の内容) 【会議出席 11 回】

【エンパワメントスクールの平成 27 年度設置校の状況及び平成 28 年度設置予定校の概要について】 (基本方針 2 関係)

*平成 27 年 6 月 19 日開催の教育委員会会議

- ・エンパワメントスクールが子どもにとって、どのようなメリットがあるかを PR していくことと、施策の趣旨と先生方の熱意を継続して踏襲できるような支援を提起。

【大阪府立学校条例及び大阪府立高等学校・大阪市立高等学校再編整備計画 (平成 26 年度～平成 30 年度) に基づく平成 27 年度実施対象校選定の考え方について】 (基本方針 2 関係)

*平成 27 年 7 月 29 日開催の教育委員会会議

- ・再編対象校になる側の生徒、保護者、地域の人々の理解を得るため、再編によって教育サービスが向上することの説明と、特色をうまくつなげられるような手法の検討を提起。

【平成 27 年度全国学力・学習状況調査における大阪府の結果概要について】 (基本方針 1、6 関係)

*平成 27 年 9 月 3 日開催の教育委員会会議

- ・府教委と市町村教委と学校現場のプロジェクトチームを府教委として継続して確立させ、授業力や授業改善の方策を受け継いでいくための人材育成の継続的な取組みを提起。

【平成 28 年度「府立学校に対する指示事項」及び「市町村教育委員会に対する指導・助言事項」について】 (基本方針 1、2 関係)

*平成 27 年 12 月 18 日開催の教育委員会会議

- ・英語の授業において、各学校での学習到達目標だけでなく、府全体としての目標設定、並びに、小学校で英語が教科として位置づけられることに伴って、小中高 12 年間を通した英語の目標設定について、互いに関連付けて考えていくことを要望。

【平成 27 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査における大阪府の結果概要について】 (基本方針 5 関係)

*平成 27 年 12 月 18 日開催の教育委員会会議

- ・幼少期、小中学校、高校と、体力づくりに継続して取り組めるように、教員が情報を持ち寄り、他校の取組みを知る等体育研究会の活用を提起。

【第 3 次大阪府子ども読書活動推進計画 (素案) について】 (基本方針 4 関係)

*平成 28 年 1 月 22 日開催の教育委員会会議

- ・学校図書館の開館状況で、毎日開けているところが少ないため、推進計画を通して、読書活動ボランティアの配置や連携などを提起。

【知事からの意見聴取について (平成 28 年度大阪府一般会計当初予算)】 (基本方針 4、6 関係)

*平成 28 年 2 月 19 日開催の教育委員会会議

- ・小学校指導体制支援推進事業の実施を機に、教職員の質を高める研修、さらにはスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの機能を十分果たせるような学校体制の構築を含めて、総合的なプログラムを作っていく必要があると提起。

その他の取組み

【各種会議への出席】（基本方針3、6関係）

*平成27年7月17日・18日開催の全国都道府県教育委員会連合会

・文部科学省からの行政説明等や、「教員の資質向上、子どもの貧困対策」をテーマとして意見交換。

*平成27年10月27日開催の平成27年度都道府県・指定都市新任教育委員研究協議会

・文部科学省主催の協議会に出席し、「チーム学校」についての意見交換。

*平成27年11月4日開催の近畿2府4県教育委員協議会

・「教職員の人材育成に向けた取組」についての協議や「学校教育における合理的配慮と基礎的環境整備への対応」等について情報交換。

【その他】

*大阪府議会への出席 6回（教育常任委員会4回、教育常任委員協議会1回 等）

*視察 2回（府立箕面東高等学校 等）

自己点検及び評価

大阪府教育委員に任命される以前に市町村教育委員会教育長及び大阪府都市教育長協議会会長を歴任した。その経験を踏まえ、定例教育委員会会議では、府内市町村教育委員会や学校現場の視点からも積極的に意見を述べ、広い視野での提言に努めた。

大阪府の教育課題の一つである「全国学力・学習状況調査」の結果については、改善に向けた一定の明るい方向性が見られた。このことは大阪府教育委員会のみならず、市町村教育委員会や学校現場が課題克服に向け真摯に取り組み、その取組みにおけるそれぞれの歯車がうまく噛み合い、成果となって表れたということであろう。しかし、今回の結果に満足することなく、学力向上と学習状況の改善の出発点ととらえ、今後も提言に努めたい。

「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果の活用方法についても、幼少期から小中学校、高校まで体力づくりに継続して取り組めるよう、体育研究会の積極的な活用などの提言に努めた。

「大阪府立高等学校・大阪市立高等学校再編整備計画」の推進については、再編対象となる学校の生徒・保護者・地域の方々の不安の払拭のため、説明を丁寧に行い、できるだけ理解を得られるよう進めていくことを提言した。

全国都道府県教育委員会連合会では「教員の資質向上、子どもの貧困対策」について、近畿教育委員会連合協議会では「教職員の人材育成に向けた取り組み」について、それぞれ意見交換・情報交換や交流を行い、大阪府での教育活動の取組み状況の紹介に努めた。

なお昨年度は、学校視察の機会が一回だけであったので、今後は積極的に視察を行い、学校現場の現状の更なる理解に努める。

平成 27 年度 教育委員の取組みについての自己点検・評価シート

【良原恵子委員】(平成 28 年 2 月 25 日就任)

教育委員会会議における取組み 【会議出席 1 回】

その他の取組み

【いじめや不登校等の生徒指導上の課題解決に向けた対応の強化について】(基本方針 4 関係)

*平成 28 年 3 月 16 日開催の第 3 回スクールカウンセラースーパーバイザー・チーフスクールカウンセラー会議

・「各市におけるスクールカウンセラーネットワークの状況について」等のテーマで協議・意見交換に参加。

*平成 28 年 3 月 26 日開催の平成 28 年度大阪府公立学校スクールカウンセラー新規採用予定者説明会

・スクールカウンセラーの活動実態について、また、「スクールカウンセラーと教員がともに取り組む問題解決力育成のためのブックレット」の活用についての協議に参加。

*平成 28 年 3 月 26 日開催の平成 28 年度大阪府公立学校スクールカウンセラー小学校配置説明会

・「小学校でのスクールカウンセラーの業務について」の協議・意見交換に参加。

【その他】

*大阪府議会への出席 3 回(教育常任委員会 2 回 等)

自己点検及び評価

3 月 16 日の会議、並びに 3 月 26 日の説明会の協議に参加することにより、いじめや不登校などの生徒指導上の課題解決に、実際に現場で中心となって取り組んでいるスクールカウンセラースーパーバイザー、チーフスクールカウンセラーの活動内容、それぞれが感じている課題ならびに 28 年度の目標・取組みについての理解を深めた。また、3 月 26 日の説明会では、教育庁として初めて取り組む「小学校指導体制支援推進事業」で小学校に配置されるスクールカウンセラーが、事業についてどのように捉え、理解し、どこに疑問や不安を感じているかを把握した。

教育委員としては、上述の会議や説明会を踏まえ、スクールカウンセラー等が具体的に活動しやすいイメージを持てるよう、まず説明を行った。その上で、「児童生徒の課題解決の取組みは、保護者・教職員等学校現場をどのように支えるかの視点(個人支援のための体制支援)が重要であり、臨床心理士の専門性を踏まえながらも現実的なエビデンス、結果を示していく」つまり「(心理面への働きかけなど)見えない支援が見える形に表す」ことの意味と重要性を伝えることができたと考える。

ただ、それで充分ではなく、スクールカウンセラー等の行動に実際に反映させるためには、今後、さらに協議・意見交換(ディスカッション)を重ねていく必要がある。また、教育委員としての経験がまだ浅いため、自身が教育委員会全体の機能や施策について理解・把握し、今後それらが広がり深まるよう努めたい。

平成 27 年度 教育委員の取組みについての自己点検・評価シート

参考

【立川さおり委員】(平成 24 年 2 月 23 日就任 — 平成 28 年 2 月 22 日退任)

教育委員会会議における取組み (主な発言の内容) 【会議出席 13 回】

【平成 27 年度大阪府教育委員会の運営方針について】 (基本方針 2、4 関係)

*平成 27 年 4 月 17 日開催の教育委員会会議

- ・キャリア教育と中退防止について、就職内定率は大事だが、進路保障の観点から、進路未定のまま卒業する生徒を減らすことの重要性を提起。

【平成 28 年度大阪府立高等学校中国等帰国生徒及び外国人生徒入学者選抜について】 (基本方針 2 関係)

*平成 27 年 6 月 19 日開催の教育委員会会議

- ・日本語学習クラスがある定時制高校などを訪問した際の外国にルーツのある生徒との話を例にあげ、昼間の学校で選抜実施校を増やすよう要望。

【エンパワメントスクールの平成 27 年度設置校の状況及び平成 28 年度設置予定校の概要について】 (基本方針 2 関係)

*平成 27 年 6 月 19 日開催の教育委員会会議

- ・エンパワメントスクールにおいて、エンパワメントタイムの充実、学期ごとのつまずき度チェックや習熟度に応じた個別対策を提起。

【併設型中高一貫校として府立富田林高等学校に併設される中学校の学校概要について】 (基本方針 2 関係)

*平成 27 年 8 月 21 日開催の教育委員会会議

- ・府立初のコミュニティスクールになるため、地域とともに学校を作っていくため、公募するなど志の高い情熱をもった教員の配置を要望。

【平成 27 年度 1 学期 (平成 27 年 4 月 18 日以降) における教職員の懲戒処分の状況について】 (基本方針 4 関係)

*平成 27 年 8 月 21 日開催の教育委員会会議

- ・懲戒処分について、体罰などの厳罰化を要望してきたが、停職処分を受けた教職員の名前を公表することも手段の一つとして検討を要望。

【平成 26 年度教育行政に係る点検及び評価結果の報告について】 (基本方針 9 関係)

*平成 27 年 9 月 3 日開催の教育委員会会議

- ・地域ボランティアの固定化や高齢化、また、地域コーディネーターも固定化が進んでいる現状に対して、新たな育成支援の重要性を提起。

【平成 27 年度 9 月定例府議会提出予定の議案について (府立高校における生徒の負傷事故)】 (基本方針 8 関係)

*平成 27 年 9 月 18 日開催の教育委員会会議

- ・今回の事故報告をうけて、毎年の水泳指導開始前や部活動で、児童・生徒に具体的な危険事案として伝えるなど注意喚起を徹底し、再発防止を要望。

【大阪府立学校条例及び大阪府立高等学校・大阪市立高等学校再編整備計画に基づく平成 27 年度実施対象校及び再編方針について】 (基本方針 2 関係)

*平成 27 年 11 月 27 日開催の教育委員会会議

- ・府立高校 (全日制・定時制) や府立子どもライフサポートセンターを訪問した際に、子どもは安定した生活基盤があれば、失った学習意欲をもう一度持てると感じたことをあげ、学び直しと自立にむけて、まずは、安心して学べる生活基盤を支えるしくみの検討を提起。

【第 3 次大阪府子ども読書活動推進計画 (素案) について】 (基本方針 4 関係)

*平成 28 年 1 月 22 日開催の教育委員会会議

- ・読み聞かせは家庭の役割として大事だが、身近に本があるという読書環境づくりのため、飲食店や商業施設などで本を置いてもらうなどの「街なか」に対するアプローチの重要性を提起。

その他の取り組み

【大阪府総合教育会議】（基本方針5関係）

*平成27年6月19日 大阪府公館

・子どもは遊びがすべてであり、就学前はどの子どもも身体を動かすことが大好き。小学校入学時点で運動の苦手意識がありもったいない。自由に遊べない環境も要因であり、保護者や保育者、教師、地域のすべての大人が社会全体で子どもに遊びの機会をつくるという大人の意識変革が重要と提起。

【学校及び施設訪問、行事見学等】（基本方針1、2関係）

*平成27年5月13日府立茨田高等学校、6月16日府立箕面東高等学校、9月25日 府立西成高等学校を視察 その他

・茨田高：校長や担当教諭らとピア・メディエーションの現状や今後について意見交換後、コミュニケーションコース授業に参加し生徒と交流。

・箕面東高：国語、数学、英語の30分モジュール授業や「メープルカフェ」（高校内における居場所プラットフォーム化事業）を視察し、生徒と交流。

・西成高：授業見学や「となりカフェ」（高校内における居場所のプラットフォーム化事業）を視察し、校長や教頭、SSWや担当スタッフと意見交換。

*平成27年9月24日府立泉北高等学校 ヤギ・ダリル・タキゾウ氏（元兵庫教育大学大学院教育研究科特任教授）と訪問

・SETの授業見学後、グローバル教育等について意見交換。ECC国際外語専門学校にて、おおさかグローバル塾について意見交換。

【その他】

*大阪府議会への出席 3回（教育常任委員会2回、教育常任委員協議会1回）

*学校等視察ほか 20回（府立学校7校、大阪府中学校生徒会サミット、府立高等学校中退防止フォーラム、高校内における居場所のプラットフォーム化事業フォーラム、大阪府高等学校定時制通信制生徒秋季発表大会、大阪メンタルヘルス総合センターセミナー等）

自己点検及び評価

私は、都道府県では全国初、唯一の公募教育委員として、大阪の教育行政への重責を自覚し、一保護者、大阪で生まれ育った府民として、「子どもの最善の利益」を最優先し、教育委員活動を実践してきた。この度、教育委員の公募が継続されたことが何よりもの評価であり、感謝に尽きる。就任当初から、教育委員活動の見える化の一助になればと積極的に現場訪問を心がけ、少しでも当事者の声を直接お聴きすることで、大阪の教育の現状や課題の実態把握、問題意識の向上に努めてきた。子どもの幸せを願う保護者＝当事者の視点で、課題と真摯に向き合ってきた。子どもに恥じないよう、アカンもんは「アカン」という非常に厳しい局面もあった。また、これまで様々な重要課題に直面したが、その中でも府立高校の再編整備では、就任して初の募集停止校の決定に際し、公募で選ばれた教育委員として、学校訪問や懇談の申し出などにもお応えできず、生徒や関係者のことを考えると申し訳ないが、苦渋の決断であった。

大阪の子どもの貧困対策においては、学力格差、経験・体験格差も深刻で固定化する中、高校現場では丁寧な生徒支援に尽力されている。しかし、学校だけでは解決できないことも多く、オール大阪・総がかりで、子どもの自立・自律にむけて、就学前からの横断的かつ継続的な途切れない支援施策が必要と感じた。「大阪子ども進路保障センター」構想（私案）は、府立高校でのキャリアコンサルタントの経験から、東京都の青少年リスタートプレイスや横浜市の取り組みに着目したもので、オール大阪として、概ね18歳までの子どものキャリア形成支援と進路相談専門として有効な施策と考えてきた。子どもの命を守るため、学校の危機管理強化（いじめや体罰根絶、学校の事件・事故、自殺念慮等）については、体罰に対する厳罰化の要望や、防災・防犯も含めた危機管理に関連する資料のとりまとめの提起もした。いずれも有効な施策につながらなかったが、教育庁の新体制のもと継承されることを願う。

大阪の強み・大阪の教育の強みは、一に人、二に人であり、子どもも先生も地域の人も大阪は人が宝。大阪には、お節介で世話好きなおっちゃん・おばちゃんがいる、まだ古き良き人情の残る街。この地域の底力を復活する鍵は「学校」にあり「教育」にあると感じている。大阪という地域に育ててもらった郷土愛の深い、温かい「人」がいる。この強みの継承こそが大阪の未来を変えると信じている。今後も大阪の未来のために、4年間の委員経験を活かすべく、私のライフワークとして、微力ながら貢献していく決意です。最後に、委員活動を支えて下さった多くの皆様に心から深く感謝を申し上げます。